



2003年漁業センサス
海面漁業調査

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

漁業経営体調査票

様式調第1号

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

	大海区名							
〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	客体 連番 番号	経営 組織	
名称						調査員 記入欄		
番号								
世帯主氏名 又は 事業所名								

個人	漁	生	共
共同経営に参加	共同経営に参加	協	同
1	2	4	5
			6

(該当番号を記入します。)

記入上の留意事項

- 調査票には、調査客体の皆様に記入していただく箇所と、調査員が皆様から聞き取って記入する箇所があります。
皆様に記入していただく箇所は、2ページの「[I] 世帯員について」と4ページの「[II] 漁船について」の赤枠で囲まれた部分です。
記入に当たっては、「漁業経営体の皆様へ」の記入の仕方及び調査票に書かれている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
残りの箇所については、調査員が後日お伺いして聞き取りますので、それまで調査票の保管をお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用してください。
- 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

[I] 世帯員について

1 ページの経営組織が「個人」の場合に記入します。

赤枠内は経営体を代表する方が鉛筆で記入してください。

1 満15歳以上の世帯員の就業状況(過去1年間(平成14年11月～15年10月))について記入してください。

「世帯の経済的中心者」とは、あなたの家や生計を支えている人をいいます。
したがって、世帯の戸籍筆頭者や漁業従事者の中の中心的な働き手であるとは限りません。

「共同経営に出資従事」とは、二人以上(法人を含めます。)が漁船、漁網等の主要な生産手段を共有し、漁業経営を共同で行ったもので、資本及び現物を出資し、海上、陸上作業を問わず、その漁業に従事している人が該当します。

名前 世帯員とは、次のような人をいいます。 1 住居と生計を共にしている人。 2 出稼ぎなどで家を離れているが、不在期間が1年以内の人。 3 住み込みの雇い人で、1年以上経過した人又は経過見込みの人。 4 満15歳以上の世帯員が9人以上いる場合は、補助票に記入してください。	世帯員番号	平成15年11月1日現在の満年齢	性別		世帯の経済的中心者	本年3月に学校を卒業した人	過去1年間仕事に従事しなかった人	過去1年間に従事した仕事について													
			自営漁業 (陸上作業を含みます。)	自営農業 (販売金額が15万円以上、 経営耕地面積が10アール以上又は 水産加工業)				その他の自営業 (年間15万円以上の売上げのある自営業)			共同経営 (陸上作業を含みます。) に出資従事	漁業雇われ (陸上作業を含みます。)		漁業以外 の仕事に雇われ		その他					
								水産	遊漁	旅館・民宿		その他	常雇	臨時雇・日雇	常雇	臨時雇・日雇					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲			
世帯員の名前を記入してください		(歳)	いずれかに○印		該当者に○印	該当者に○印	各世帯員が従事した仕事すべてに○印														
のりしろ	701		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	702		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	703		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	704		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	705		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	706		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	707		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		
	708		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		

満14歳以下の世帯員は何人ですか。(人)			
男	731	0	0
女	732	0	0

2 家としての兼業種類は何ですか。

(1) 1に記入した兼業種類のうち、家としての主な兼業種類(年間収入の多いもの)について主なもの一つに○印を付けてください。

751	0	0	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
-----	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

「**自営漁業の経営主**」とは、自営漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人が該当します。

海上作業に従事した日数の数え方—実日数で数え、365日を超えることはありません。また、遊漁案内業は含めません。
 日帰り操業は1日のうちに2回以上操業しても1日と数えます。
 1航海が1夜の場合（夕方出航し、翌朝入港した場合）は1日とします。
 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

「**過去1年間に従事した仕事について**」で01～12に○印を付けた仕事のうち、最も従事した日数が長かった仕事について、該当する01～12のいずれかの番号を記入します。

（自営漁業の従事日数とそれ以外のすべての仕事の合計従事日数を比べ、**従事日数が長い方**を主とします。）

過去1年間に従事した仕事のうち主な仕事 (従事日数の最も長かった仕事)	自営漁業とそれ以外の仕事をした人について		過去1年間に漁業に従事した人について (⑧、⑭、⑮のいずれかに○印の付いた人)						自営漁業の経営主の後継者の配偶者		自営漁業の後継者の配偶者	
	自営漁業が主		自営漁業に従事した人について			共同経営に出資従事した人について (⑭又は⑮に○印の付いた人)			自営漁業の後継者		自営漁業の後継者の配偶者	
	自営漁業が主	その他が主	海上作業に従事した人について		陸上作業に従事した人について	海上作業に従事した人について		陸上作業に従事した人について	自営漁業の経営主	自営漁業の後継者	自営漁業の後継者の配偶者	自営漁業の後継者の配偶者
			海上作業に従事した日数	従事日数の最も長かった漁業種類		海上作業に従事した日数	従事日数の最も長かった漁業種類					
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜
番号を記入	いずれかに○印	日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印	該当者に○印	該当者に○印	日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印	該当者に○印	該当者に○印	該当者に○印
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2
	1 2			1	1	1			1	1	1	1 2

(2) 家として自営漁業とそれ以外の兼業とどちらが主（年間収入が多い）ですか。

自営漁業が主	自営漁業が従
いずれかに○印	
752	0 0 0
1	2

(3) 共同経営に参加した（⑭欄に○印が付いた）世帯について

自営漁業と共同経営を合わせた収入とそれ以外の兼業を合わせた収入（過去1年間）との関係について

自営と共同経営のみ	自営と共同経営が主	自営と共同経営が従
いずれかに○印		
753	0 0 0	
1	2	3

[II] 漁船について

過去1年間に漁船を使用して操業しましたか。

漁船を使用した方は1へ

1 使用した漁船の種類は何ですか。

(借りて使用した場合も含めます。)

(1 台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、1 隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。)

(使用したものをすべてに○印を記入してください。)

	動力船	船外機付船	無動力船
501	0	1	2
		3	

2 過去1年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、11月1日現在保有している漁船は何隻ですか。

(借りて保有している船も含めます。)

(隻)

無動力船	502	0	0	
------	-----	---	---	--

(隻)

船外機付船	503	0	0	
-------	-----	---	---	--

3 動力船について〔動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。〕

(1) 過去1年間に使用した動力船について記入してください。				(2) 11月1日			
漁船名 (1 漁船名は左からつめて1マスに1字ずつ記入してください。 2 8隻以上動力船を使用した場合は補助票に記入してください。)	漁船番号	新トン数の適用を受けた船に○印 (小数点以下2位まで記入してください。)	11月1日現在 有の有無		主馬力数 (漁船法登録馬力) 農林馬力数	新馬力数の適用を受けた船に○印	竣工した年
			保有している	保有していない			
①	②	③	⑤		⑥	⑦	⑧
無動力船、船外機付船は記入しないでください。		小数点 (トン)	いずれかに ○ 印				(年)
	601		1	1	2	1	
	602		1	1	2	1	
	603		1	1	2	1	
	604		1	1	2	1	
	605		1	1	2	1	
	606		1	1	2	1	
	607		1	1	2	1	

(「2」に○印が付いた場合、⑥以降については記入の必要はありません。)

漁船 --- 経営体が所有又は借りている船のうち、過去1年間に自己の漁業生産に使用した主船及び付属船(火船、魚探船、運搬船等)について記入してください。

ただし、漁船登録を受けていても直接漁業に使用しなかった船(遊漁のみに使用、買い付け用運搬船等)は除いてください。

新トン数の適用を受けた船 --- 昭和57年7月18日以降に建造した船及び特定修繕(総トン数に変更を生ずる修繕)を行った船がすべて該当します。

農林馬力数 --- 漁船法により規定されている漁船登録に用いられる馬力数です。

新馬力数の適用を受けた船 --- 平成14年4月以降に、新たに推進機関を搭載した船が該当します。

単一操業 --- 操業した漁業種類が1種類の場合。

複数操業 --- 操業した漁業種類が2種類以上の場合。

出漁日数の数え方 --- 漁場までの往復の日数と漁場における操業日数を合計した日数です。

日帰り操業は1日のうちに2回以上操業しても1日と数えます。

1航海が1夜の場合(夕方出航し、翌朝入港した場合)は1日とします。

2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

販売金額1位の漁業種類 --- 漁業種類番号及び主な操業種類については、漁船ごとに、操業した漁業について「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にして記入してください。

現在経営体が保有しているすべての動力船について記入してください。

漁利用船状況の記		過去1年間の出漁日数	販売金額1位の漁業種類について記入してください。								
			全記国入漁業種類番号をい	乗組員数について						女 子	外 国 人
男		子									
15歳	30歳	40歳		50歳	60歳	65歳以上					
⑨	⑩	⑪	⑫								
いずれかに印	(日)		(人)								
1 2											
1 2											
1 2											
1 2											
1 2											
1 2											
1 2											

[Ⅲ] 漁業経営について

漁業種類及び漁業制度の記入に当たっては「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にしてください。

1 過去1年間に営んだ漁業種類は何ですか。
該当するものに○印を記入してください。

(雇われて従事した漁業種類は除きます。)

「活魚」とは生かして水揚げし、生きている状態で販売したものをいいます。

なお、漁業者が特に生かすための措置を講じていなくても生きている状態が通常のものを含めないこととします。

活魚販売を行ったものに○印

底びき網	遠洋底びき網	1.01	0	0	0	0	0	
	以西底びき網	1.02	0	0	0	0	0	
	沖合底網	1 とうまき	1.03	0	0	0	0	1
		2 そとうまき	1.04	0	0	0	0	1
	小型底網	縦びき 1 種	1.05	0	0	0	0	1
		縦びき その他	1.06	0	0	0	0	1
		横びき	1.07	0	0	0	0	1
	船きび網	ひき回し網	1.08	0	0	0	0	1
		ひき寄せ網	1.09	0	0	0	0	1
	まき	大まき	1 とうまき遠洋かつお・まぐろ	1.11	0	0	0	0
1 とうまき近海かつお・まぐろ			1.12	0	0	0	0	
1 とうまきその他			1.13	0	0	0	0	
2 そとうまき			1.14	0	0	0	0	
中・小型		巾着網 1 とうまき	1.15	0	0	0	0	1
		巾着網 2 とうまき	1.16	0	0	0	0	1
まき網		その他のまき網	1.17	0	0	0	0	1
		さけ・ます流し網	1.18	0	0	0	0	0
刺網		かじき等流し網	1.19	0	0	0	0	0
		その他の刺網	1.20	0	0	0	0	1
敷網	さんま棒受網	1.21	0	0	0	0	0	
	その他の敷網	1.22	0	0	0	0	1	
大きさ	大型定置網	1.23	0	0	0	0	1	
	小型定置網	1.24	0	0	0	0	0	
	小型定置網	1.25	0	0	0	0	1	
はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	1.27	0	0	0	0	0	
	近海まぐろはえ縄	1.28	0	0	0	0	0	
	沿岸まぐろはえ縄	1.29	0	0	0	0	0	
	その他のはえ縄	1.30	0	0	0	0	0	
釣	遠洋かつお一本釣	1.31	0	0	0	0	0	
	近海かつお一本釣	1.32	0	0	0	0	0	
	沿岸かつお一本釣	1.33	0	0	0	0	0	
	遠洋いか釣	1.34	0	0	0	0	0	
	近海いか釣	1.35	0	0	0	0	0	
	沿岸いか釣	1.36	0	0	0	0	1	
	さきば釣	1.37	0	0	0	0	1	
	ひき縄釣	1.38	0	0	0	0	1	
その他の釣	1.39	0	0	0	0	1		
小潜水器	小型捕鯨	1.40	0	0	0	0	0	
	潜水器漁	1.41	0	0	0	0	0	
採藻	採貝	1.42	0	0	0	0	0	
	採藻	1.43	0	0	0	0	0	
海面養殖	その他の漁業	1.44	0	0	0	0	1	
	魚類養殖	ぎんざけ養殖	1.45	0	0	0	0	0
		ぶり類養殖	1.46	0	0	0	0	1
		まだい養殖	1.47	0	0	0	0	1
		ひらめ養殖	1.48	0	0	0	0	1
	その他の魚類養殖	1.49	0	0	0	0	1	
	ほたてがい養殖	1.50	0	0	0	0	0	
	かき類養殖	1.51	0	0	0	0	0	
	その他の貝類養殖	1.52	0	0	0	0	0	
	くるまえび養殖	1.53	0	0	0	0	1	
ほや類養殖	1.54	0	0	0	0	0		
種苗養殖を含む)	その他の水産動物類養殖	1.55	0	0	0	0	0	
	こんぶ類養殖	1.56	0	0	0	0	0	
	わかめ類養殖	1.57	0	0	0	0	0	
	のり類養殖	1.58	0	0	0	0	0	
	その他の海藻類養殖	1.59	0	0	0	0	0	
	真珠養殖	1.60	0	0	0	0	0	
	真珠母貝養殖	1.61	0	0	0	0	0	

2 過去1年間に営んだ漁業種類の漁業制度は何ですか。

(海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。)

営す販の
べ売も
て金の
だに額に
も○ー○
の印位印

大臣許可漁業	2.01	0	0	0	1	2
知事許可漁業	2.02	0	0	0	1	2
大臣承認漁業	2.03	0	0	0	1	2
漁業権漁業	2.04	0	0	0	1	2
自由漁業	2.05	0	0	0	1	2
その他	2.06	0	0	0	1	2

3 海面養殖業について

営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。
海面養殖業を営んでいない場合は4へ(次ページ右上)

(1) 魚類養殖の規模はどのくらいですか。

養殖施設面積 … 経営体の所有(借入を含む)する総施設面積
使用面積 … 施設面積のうち、通常使用している面積(魚類を放養しない面積を除く。)

ア 魚類養殖全体の養殖場の施設面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	301						
使用面積	302						

イ ぶり類養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	303						
使用面積	304						

ウ まだい養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	305						
使用面積	306						

エ ひらめ養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	307						
うち、陸上水槽の面積	308						
使用面積	309						

(2) ほたてがい養殖の養成員数はいくらですか。
(養殖しても1千貝に満たないものは1と記入してください。)

ア 採苗から1年未満のもの (千貝)

イ 採苗から1年以上、2年未満のもの (千貝)

ウ 採苗から2年以上のもの (千貝)

(3) かき類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア～ウのうち、該当する養殖方法だけ記入してください。)

ア いかだ垂下式、簡易垂下式の場合 (台)
台数は -----

1台の平均面積は ----- (m²)

イ はえ縄式の場合 (m)
幹縄の長さは -----

幹縄とは、海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)をいいます。

ウ 地まき式、そだひび式の場合 (m²)
養殖場の面積は

(4) わかめ類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア、イの両方に必ず記入してください。)

ア 幹縄の長さ ----- (m)

幹縄とは、海面又は海中に水平に張って枝縄や親縄を支える縄(ロープ)をいいます。

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さ (m)

(5) のり類養殖の規模はどのくらいですか。
養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。

養殖施設の面積 (m²)

(どちらか一方に記入し、両方には記入しません。)

面積を表す単位の名称は何ですか。
(例 柵、小間、間など)

この単位で数えた施設はいくつですか。

この単位の1単位を平方メートルに換算した面積はどのくらいですか。(m²)

(6) 真珠養殖の規模はどのくらいですか。(台)
いかだ台数 -----

(籠 100つりを1台としてください。)

(7) 真珠母貝養殖の規模はどのくらいですか。(台)
いかだ台数 -----

(籠 100つりを1台としてください。)

4 漁業の従事者数について

(1) 11月1日現在の漁業の海上作業の従事者数は何人ですか。(人)

計	401			
家 族	402			
雇 用 者 計	403			
同 一 市 町 村	404			
そ の 他 の 県 内	405			
県 外	406			
う ち 、 外 国 人	407			

(2) 過去1年間に「漁業の海上作業に従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。(人)

計	411			
家 族	412			
男	412			
女	413			
雇 用 者	414			
男	414			
女	415			

(3) 過去1年間に「漁業の陸上作業のみに従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。(人)

計	421			
家 族	422			
男	422			
女	423			
雇 用 者	424			
男	424			
女	425			

5 過去1年間の漁業従事日数について

(1) 過去1年間に陸上作業も含め漁業に従事した日数は何日ですか。(日)

(365日を超えない経営体としての実日数で記入してください。)

(2) 上記のうち、海上作業に従事した日数は何日ですか。(日)

6 過去1年間の漁獲物の販売金額について

(自家で消費したものは含めません。販売金額が1万円に満たないものは「1」、販売金額がないものは「0」と記入します。)

(1) 経営体の総販売金額はいくらですか。(円)

百 十 千 百 十 (円)
億 億 億 万 万 万 万

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額はいくらですか。(円)

百 十 千 百 十 (円)
億 億 億 万 万 万 万

7 過去1年間の漁獲物の出荷先について

	漁協の市場又は荷さばき所	漁協以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他の	
(出荷先すべてに○印)	<input type="text" value="4"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="4"/>	<input type="text" value="5"/>	<input type="text" value="6"/>	<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="8"/>

(主なもの(出荷額の多いもの)一つに○印)

[IV] 共同経営について

1 ページの経営組織が「共同経営」の場合に記入します。

1 出資金について該当するものに○印を記入してください。
(現物出資は出資金に含めません。)

出現資金なし又は	10	10	30	50	100	200	500	1,000	3,000			
	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円以上			
831	0	0	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10

2 出資者の員数を記入してください。
(現物出資者も含めます。)

832	0	0	0									
-----	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(人)

3 漁船・漁網の所有形態について該当するものに○印を記入してください。
(主なもの一つに○印)

				共	も	借	そ	
				有	ち	入	の	
					り	れ	他	
漁船	833	0	0	0	1	2	3	4
漁網	834	0	0	0	1	2	3	4

4 収益について該当するものに○印を記入してください。

(収益がなかった場合は、「分配」は記入しません。
分配しなかった場合は、「分配方法」は記入しません。)

				収	益	が	分	配	分	配	方	法
				あ	な	し	し	平	出	そ		
				っ	か	な	な	等	資	の		
				た	っ	な	な		口	他		
				た	た	た	た		数			
835	0	1	2	1	2	1	2	3				

[V] 地方選定漁業種類について

地方選定漁業種類に該当がある場合に記入します。

全国漁業種類番号	地方選定漁業種類名		番号		該当するものに○印		
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0
					0	0	0



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省

様式調第2号

2003年漁業センサス
 海面漁業調査

会社、官公庁・学校・試験場調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

会 社
 官 公 庁
 学 校
 試 験 場
 番 号
 3 7

〔指標欄〕	大海区名						
	大海区	都府県(支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	客体連番 番号	経営組織
名称						調査員 記入欄	
番号							

事業所名

本社名

(該当番号を記入します。)

本 社 所 在 地

都道 市区
府県 町村

電話番号

記入上の留意事項

- この調査票は、会社、官公庁・学校・試験場の方が直接記入していただくようお願いします。
- 記入に当たっては、「会社、官公庁・学校・試験場調査票の記入の仕方」の注意事項及び調査票に書かれている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用してください。
- 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに調査票の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

[I] 漁業経営について

漁業種類及び漁業制度の記入に当たっては「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にしてください。

1 過去1年間に営んだ漁業種類は何ですか。
該当するものに○印を記入してください。

(雇われて従事した漁業種類は除きます。)

「活魚」とは生かして水揚げし、生きている状態で販売したものをいいます。

なお、漁業者が特に生かすための措置を講じていなくても生きている状態が通常のものとは含めないこととします。

活魚販売を行ったものに○印

底	遠洋底びき	網	1.01	0	0	0	0	0
	以西底びき	網	1.02	0	0	0	0	0
び	沖合底網	1 ぼうまき	1.03	0	0	0	0	1
		2 そまき	1.04	0	0	0	0	1
	小形底網	縦びき	1.05	0	0	0	0	1
		横びき	1.06	0	0	0	0	1
船	ひき	1.07	0	0	0	0	1	
	ひき	1.08	0	0	0	0	1	
び	ひき	1.09	0	0	0	0	1	
	びき	1.10	0	0	0	0	1	
ま	大ま	1 ぼうまき	1.11	0	0	0	0	0
		1 ぼうまき	1.12	0	0	0	0	0
		1 ぼうまき	1.13	0	0	0	0	0
		2 そまき	1.14	0	0	0	0	0
	中ま	巾着網	1.15	0	0	0	0	1
		巾着網	1.16	0	0	0	0	1
網	ま	1.17	0	0	0	0	1	
	ま	1.18	0	0	0	0	0	
刺	さ	1.19	0	0	0	0	0	
	さ	1.20	0	0	0	0	1	
敷	さん	1.21	0	0	0	0	0	
	さん	1.22	0	0	0	0	1	
大	型	1.23	0	0	0	0	1	
	型	1.24	0	0	0	0	0	
小	型	1.25	0	0	0	0	1	
	型	1.26	0	0	0	0	1	
は	遠洋	1.27	0	0	0	0	0	
	近海	1.28	0	0	0	0	0	
	沿岸	1.29	0	0	0	0	0	
	沿岸	1.30	0	0	0	0	0	
釣	遠洋	1.31	0	0	0	0	0	
	近海	1.32	0	0	0	0	0	
	沿岸	1.33	0	0	0	0	0	
	遠洋	1.34	0	0	0	0	0	
	近海	1.35	0	0	0	0	0	
	沿岸	1.36	0	0	0	0	1	
	さ	1.37	0	0	0	0	1	
	ひ	1.38	0	0	0	0	1	
小	型	1.39	0	0	0	0	1	
	型	1.40	0	0	0	0	0	
採	水	1.41	0	0	0	0	0	
	水	1.42	0	0	0	0	0	
そ	の	1.43	0	0	0	0	0	
	の	1.44	0	0	0	0	1	
海	ぎんざ	1.45	0	0	0	0	0	
	ぶり	1.46	0	0	0	0	1	
	ま	1.47	0	0	0	0	1	
	ひ	1.48	0	0	0	0	1	
	の	1.49	0	0	0	0	1	
	ほ	1.50	0	0	0	0	0	
	か	1.51	0	0	0	0	0	
	そ	1.52	0	0	0	0	0	
	ほ	1.53	0	0	0	0	1	
	そ	1.54	0	0	0	0	0	
種	の	1.55	0	0	0	0	0	
	こ	1.56	0	0	0	0	0	
	わ	1.57	0	0	0	0	0	
	の	1.58	0	0	0	0	0	
	そ	1.59	0	0	0	0	0	
	真	1.60	0	0	0	0	0	
	真	1.61	0	0	0	0	0	
	真	1.62	0	0	0	0	0	
	真	1.63	0	0	0	0	0	
	真	1.64	0	0	0	0	0	

2 過去1年間に営んだ漁業種類の漁業制度は何ですか。

(海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。)

営す販の
んべ売も
だて金の
に額に
も〇〇
の印位印

大臣許可漁業	2.01	0	0	1	2
知事許可漁業	2.02	0	0	1	2
大臣承認漁業	2.03	0	0	1	2
漁業権漁業	2.04	0	0	1	2
自由漁業	2.05	0	0	1	2
その他	2.06	0	0	1	2

3 海面養殖業について

営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。
海面養殖業を営んでいない場合は4へ(次ページ右上)

(1) 魚類養殖の規模はどのくらいですか。

養殖施設面積 … 経営体の所有(借入を含む)する総施設面積
使用面積 … 施設面積のうち、通常使用している面積(魚類を放養しない面積を除く。)

ア 魚類養殖全体の養殖場の施設面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	301						
使用面積	302						

イ ぶり類養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	303						
使用面積	304						

ウ まだい養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	305						
使用面積	306						

エ ひらめ養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	307						
うち、陸上水槽の面積	308						
使用面積	309						

(2) ほたてがい養殖の養成員数はいくらですか。
(養殖しても1千貝に満たないものは1と記入してください。)

ア 採苗から1年未満のもの (千貝)

イ 採苗から1年以上、2年未満のもの (千貝)

ウ 採苗から2年以上のもの (千貝)

(3) かき類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア～ウのうち、該当する養殖方法だけ記入してください。)

ア いかだ垂下式、簡易垂下式の場合 (台)
台数は -----

1台の平均面積は ----- (m²)

イ はえ縄式の場合 (m)
幹縄の長さは -----

幹縄とは、海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)をいいます。

ウ 地まき式、そだひび式の場合 (m²)
養殖場の面積は

(4) わかめ類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア、イの両方に必ず記入してください。)

ア 幹縄の長さ ----- (m)

幹縄とは、海面又は海中に水平に張って枝縄や親縄を支える縄(ロープ)をいいます。

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さ (m)

(5) のり類養殖の規模はどのくらいですか。
養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。

養殖施設の面積 (m²)

(どちらか一方に記入し、両方には記入しません。)

面積を表す単位の名称は何ですか。
(例 柵、小間、間など)

この単位で数えた施設はいくつですか。

この単位の1単位を平方メートルに換算した面積はどのくらいですか。 (m²)

(6) 真珠養殖の規模はどのくらいですか。 (台)
いかだ台数 ----- (籠 100つりを1台としてください。)

(7) 真珠母貝養殖の規模はどのくらいですか。 (台)
いかだ台数 ----- (籠 100つりを1台としてください。)

4 漁業の従事者数について (経営主又はその家族が漁業に従事している場合は、その数も含めてください。)

(1) 11月1日現在の漁業の海上作業の従事者数は何人ですか。 (人)

計		401					
生活本拠地	同一市町村	404					
	その他の県内	405					
	県外	406					
	うち、外国人	407					

(2) 過去1年間に「漁業の海上作業に従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。 (人)

計	411				
男	414				
女	415				

(3) 過去1年間に「漁業の陸上作業のみに従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。 (人)

計	421				
男	424				
女	425				

5 過去1年間の漁業従事日数について

(1) 過去1年間に陸上作業も含め漁業に従事した日数は何日ですか。

(365日を超えない経営体としての実日数で記入してください。)

(2) 上記のうち、海上作業に従事した日数は何日ですか。 (日)

6 過去1年間の漁獲物の販売金額について

(長期遠洋航海等で漁獲物はあったものの、まだ販売していない場合は、販売金額は「0」と記入してください。また、販売金額が1万円に満たないものは「1」と記入してください。)

(1) 経営体の総販売金額はいくらですか。

百十 千百十 (円)
億 億 億 万 万 万 万

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額はいくらですか。

百十 千百十 (円)
億 億 億 万 万 万 万

7 過去1年間の漁獲物の出荷先について

	漁協の市場又は荷さばき所	漁協以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他の
(出荷先すべてに○印)	<input type="text" value="451"/> <input type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7 8
(主なもの(出荷額の多いもの)一つに○印)	<input type="text" value="452"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7 8

[II] 漁船について

過去1年間に漁船を使用して操業しましたか。 →

漁船を使用していない方は6ページへ

漁船を使用した方は1へ

1 使用した漁船の種類は何ですか。
(借りて使用した場合も含めます。)

(1台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。)

2 過去1年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、11月1日現在保有している漁船は何隻ですか。

(借りて使用している船も含めます。)

(使用したもののすべてに○印を記入してください。)

	動力船	船外機付船	無動力船
5 0 1 0	1	2	3

→ 無動力船 5 0 2 0 0 (隻)

→ 船外機付船 5 0 3 0 0 (隻)

3 動力船について (動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。)

(1) 過去1年間に使用した動力船について記入してください。					(2) 11月1日現在			
漁船名 (1 漁船名は左からつめて1マスに1字ずつ記入してください。 2 16隻以上動力船を使用した場合は補助票に記入してください。)	漁船番号	トン数 (小数点以下2位まで記入してください。)	新トンの適用を受けた船に○印	11月1日現在の保有の有無		主機関の馬力数 (漁船法登録馬力) 農林馬力数	新馬力数の適用を受けた船に○印	竣工した年
				保有している	保有していない			
①	②	③	④	⑤		⑥	⑦	⑧
無動力船、船外機付船は記入しないでください。		小数点 (トン)		いずれかに○印				(年)
	601		1	1	2		1	
	602		1	1	2		1	
	603		1	1	2		1	
	604		1	1	2		1	
	605		1	1	2		1	
	606		1	1	2		1	
	607		1	1	2		1	
	608		1	1	2		1	
	609		1	1	2		1	
	610		1	1	2		1	
	611		1	1	2		1	
	612		1	1	2		1	
	613		1	1	2		1	
	614		1	1	2		1	
	615		1	1	2		1	

のりしろ

(2に○印が付いた場合、⑥以降については記入の必要はありません。)

漁船 --- 経営体が所有又は借りている船のうち、過去1年間に自己の漁業生産に使用した主船及び付属船(火船、魚探船、運搬船等)について記入してください。

ただし、漁船登録を受けていても直接漁業に使用しなかった船(遊漁のみに使用、買い付け用運搬船等)は除いてください。

新トン数の適用を受けた船 --- 昭和57年7月18日以降に建造した船及び特定修繕(総トン数に変更を生ずる修繕)を行った船がすべて該当します。

農林馬力数 --- 漁船法により規定されている漁船登録に用いられる馬力数です。

新馬力数の適用を受けた船 --- 平成14年4月以降に、新たに推進機関を搭載した船が該当します。

単一操業 --- 操業した漁業種類が1種類の場合

複数操業 --- 操業した漁業種類が2種類以上の場合

出漁日数の数え方 --- 漁場までの往復の日数と漁場における操業日数を合計した日数です。

日帰り操業は1日のうちに2回以上操業しても1日と数えます。

1航海が1夜の場合(夕方出航し、翌朝入港した場合)は1日とします。

2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

販売金額1位の漁業種類 --- 漁業種類番号及び主な操業種類については、漁船ごとに、操業した漁業について「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にして記入してください。

経営体が保有しているすべての動力船について記入してください。

漁利用船状況の 単一操業 複数操業		過去1年間の 出漁日数	販売金額1位の漁業種類について								
			全国漁業種類番号を 記入してください	乗組員数について						女 子	外 国 人
				男 子							
			15 〜 29 歳	30 〜 39 歳	40 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 64 歳	65 歳 以上			
⑨		⑩	⑪	⑫							
いずれかに ○ 印		(日)		(人)							
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										
1	2										

[Ⅲ]会社について

1 ページの経営組織が「会社」の場合に記入します。

1 本社・事業所の区分及び会社の種類の該当するものに○印を記入してください。

本社・事業所の区分			会社の種類 (いずれかに○印してください)			
本社	事業所		株式	合資	合名	有限
801	0	0	1	2	3	4

2 11月1日現在の従業員数について

(1) 漁業以外の仕事に従事した人も含めたすべての従業員数を記入してください。

(本社の場合は、事業所を含めた従業員数ではなく、本社だけの従業員数を記入してください。)

(人)

802			
-----	--	--	--

以下、このページの点線枠で囲まれた項目は**本社のみ**記入する項目です。「1 本社・事業所の区分」で**本社に○印が付いた場合のみ**記入してください。
また、記入に当たっては、本社及び事業所を含めた**会社全体**について記入してください。

(点線枠内は本社のみ記入してください)

(2) 事業所も含めた会社全体の従業員数を記入してください。

(人)

計	803				
常 雇	804				
臨時雇・日雇	805				

3 資本金について該当するものに○印を記入してください。

(株式会社については払込み済資本金に、合資、合名、有限会社については出資金の金額に○印を記入してください。)

100万円未満	100万円	200万円	500万円	1,000万円	3,000万円	5,000万円	1億円	10億円	10億円以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

(点線枠内は本社のみ記入してください)

4 漁業の専業・兼業について

(1) 過去1年間に営んだ事業が、漁業のみの場合は「専業」に、漁業以外の事業も営んだ場合は「兼業」に○印を記入してください。

				専業	兼業
807	0	0	0	1	2

「5 子会社について」へ

(2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について該当するもの一つに○印を記入してください。

25%未満	25%～50%	50%～75%	75%以上
808	0	0	0
1	2	3	4

(3) 過去1年間に漁業以外に営んだ事業に○印を記入してください。また、経営体が持つ事業所の数を主に営んだ事業別に記入してください。

		営んだものすべてに○印	販売金額一位	のものに○印	事業所の数
製造業	水産加工業	811	1	2	
	その他	812	1	2	
卸売・小売業、飲食業		813	1	2	
サービス業		814	1	2	
その他	冷蔵倉庫業	815	1	2	
	その他	816	1	2	

(4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数を記入してください。)

817	0	0	
-----	---	---	--

5 子会社について

事業別に子会社の数を記入してください。

			子会社の数
漁業		821	0
製造業	水産加工業	822	0
	その他	823	0
卸売・小売業、飲食業		824	0
サービス業		825	0
その他	冷蔵倉庫業	826	0
	その他	827	0



2003年 漁業センサス
海面漁業調査

漁業従事者世帯調査票

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第3号

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

〔指標欄〕	大海区名							世帯区分
	大海区	都府県(支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	客体連番	調査員記入欄	
名称								
番号								
世帯主の氏名								(該当番号を記入します。)

普通世帯	準世帯
8	9

記入上の留意事項

- 調査票には、調査客体の皆様に記入していただく箇所と、調査員が皆様から聞き取って記入する箇所があります。
皆様に記入していただく箇所は、2ページの赤枠で囲まれた部分です。
記入に当たっては、「漁業従事者世帯の皆様へ」の記入の仕方及び調査票に書かれている注意事項をよく読んで記入されるようお願いいたします。
残りの箇所については、調査員が後日お伺いして聞き取りますので、それまで調査票の保管をお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用してください。
- 数字は算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

赤枠内は経営体を代表する方が鉛筆で記入してください。

1 満15歳以上の世帯員の就業状況(過去1年間(平成14年11月~15年10月))について記入してください。

「世帯の経済的中心者」とは、あなたの家や生計を支えている人をいいます。したがって、世帯の戸籍筆頭者や漁業従事者の中の中心的な働き手であるとは限りません。

「共同経営」とは、二人以上(法人を含めます。)が漁船、漁網等の主要な生産手段を共有し、漁業経営を共同で行ったものをいいます。

名前 <small>(世帯員とは、次のような人をいいます。 1 住居と生計を共にしている人。 2 出稼ぎなどで家を離れているが、不在期間が1年以内の人。 3 住み込みの雇い人で、1年以上経過した人又は経過見込みの人。 4 満15歳以上の世帯員が11人以上いる場合は、補助票に記入してください。)</small>	世帯員番号	平成15年11月1日現在の満年齢	男女別		世帯の経済的中心者	本年3月に学校を卒業した人	過去1年間の仕事の状況			
			男	女			過去1年間に漁業に従事した人 (陸上作業を含みません。)	漁業関連産業に従事した人	その他の仕事に従事した人	過去1年間仕事に従事しなかった人
①	②	③	④		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
世帯員の名前を記入してください。		(歳)	いずれかに印 ○ 印		該当者に印 ○ 印	該当者に ○ 印				
	701		1	2	1	1	1	2	3	4
	702		1	2	1	1	1	2	3	4
	703		1	2	1	1	1	2	3	4
	704		1	2	1	1	1	2	3	4
	705		1	2	1	1	1	2	3	4
	706		1	2	1	1	1	2	3	4
	707		1	2	1	1	1	2	3	4
	708		1	2	1	1	1	2	3	4
	709		1	2	1	1	1	2	3	4
	710		1	2	1	1	1	2	3	4

過去1年間に漁業に従事					
過去1年間に従事(漁業に従事し)					
漁業雇われ(陸上作業を含みます。)	共同経営(陸上作業を含みます。)	漁業以外の仕事に雇われ		その他	
		漁業関連施設に雇われ	その他	常雇	臨時雇・日雇
常雇	臨時雇・日雇	常雇	臨時雇・日雇	常雇	臨時雇・日雇
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

各世帯員が従事した					
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06
01	02	03	04	05	06

満15歳以上

満14歳以下の世帯員は何人ですか。			
男	731	0	0
女	732	0	0

↑
(1に○印が付いた世帯員の方についてのみ) ⑪~⑯欄の該当欄に記入してください。

「過去1年間に従事した仕事について」で01～12に○印を付けた仕事のうち、最も従事した日数が長かった仕事を聞き取り、該当する01～12のいずれかの番号を記入します。

（ 自営漁業の従事日数とそれ以外の仕事の従事日数を比べ、従事日数が長い方を主とします。）

した人のみ記入します。

した仕事について した人のみ						過去1年間に従事した仕事のうち最も長かった仕事		過去1年間に漁業に従事した人について (①①、①②、①⑦のいずれかに○印の付いた人)				自営漁業 (①⑦に○印の付いた人)				
自営漁業 (陸上作業を含みます。)	自営農業 (又は販売金額が15万円以上 経営耕地面積が10アール以上)	その他の自営業 (年間15万円以上の売上げのある自営業)				過去1年間に従事した仕事のうち最も長かった仕事	漁業雇われ又は共同経営と		漁業雇われ又は共同経営に出資 (①①又は①②に○印の付いた人)		自営漁業 (①⑦に○印の付いた人)		陸上作業に従事した人			
		水産加工業	遊漁案内業	旅館・民宿業	その他		漁業雇われ又は共同経営が主	漁業雇われ又は共同経営が主	海 上 作 業 に 従 事 し た 日 数	従事日数が最も長かった漁業種類	陸上作業に従事した人	海 上 作 業 に 従 事 し た 日 数	従事日数が最も長かった漁業種類	陸上作業に従事した人		
															そのときの船が10トン合	そのときの船が10トン合
①⑦	①⑧	①⑨	①⑩	①⑪	①⑫	②③	②④	②⑤	②⑥	②⑦	②⑧	②⑨	②⑩	②⑪	②⑫	
仕事すべてに○印						番号を記入	いずれかに○印	日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印	日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印			
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1
07	08	09	10	11	12		1	2			1	1			1	1

2 兼業について

(1) 家としての主な兼業種類について主なもの(年間収入の多いもの)一つに○印を記入してください。

漁業以外の 仕事に雇われ				自 営 漁 業	自 営 農 業	その他の自営業							
漁業関連 施設に雇 われ		その他				水 産 加 工 業	遊 漁 案 内 業	旅 館 ・ 民 宿 業	そ の 他				
常 雇	臨 時 雇 ・ 日 雇	常 雇	臨 時 雇 ・ 日 雇										
751	0	0		03	04	05	06	07	08	09	10	11	12

(2) 家として漁業雇われ又は共同経営とそれ以外の兼業とどちらが主(年間収入が多い)ですか。いずれかに○印を記入してください。

				漁業雇われ又は主	共同経営又は従
752	0	0	0	1	2

3 家として漁業に雇われて又は共同経営に出資従事して得た労賃収入について該当するもの一つに○印を記入してください。

50万円未満	50万円	100万円	200万円	300万円	400万円	500万円	500万円以上			
901	0	0	0	1	2	3	4	5	6	7



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省
 様式調第4号

2003年 漁業センサス
 海面漁業調査

漁業管理組織調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

		大海区名					
〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	客 一 番	体 連 号	組 織 区 分
	名 称						
	番 号						

組 織 の 名 称	
代 表 者 氏 名	
電 話 番 号	

局・取りまとめセンター	
セ ン タ ー	

〔 I 〕 組織の概要

1 管理対象魚種と漁業種類

魚 種 名	魚 種 コー ド	漁 業 種 類 (該 当 す る も の す べ て に ○ 印)										
		底 び き 網		刺 網	釣	は え 縄	船 び き 網	採 貝 ・ 採 藻	定 置 網	そ の 他 の 漁 業	海 面 養 殖 業	左 記 以 外 の 漁 業
		小 型 底 び き 網	左 記 以 外 の 網									
	101	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	102	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	103	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	104	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	105	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

2 11月1日現在の参加漁業経営体

(経営体)

(1) 実参加漁業経営体数

151			
-----	--	--	--

(2) 管理対象漁業種類別の参加漁業経営体数

(経営体)

底 び き 網	小 型 底 び き 網	161		
	上 記 以 外 の 底 び き 網	162		
刺 網		163		
釣		164		
は え 縄		165		
船 び き 網		166		
採 貝 ・ 採 藻		167		
定 置 網		168		
そ の 他 の 漁 業		169		
海 面 養 殖 業		170		
上 記 以 外 の 漁 業		171		

(3) 参加漁業経営体の所在する地区範囲

(いずれか一つに○印)

		1 漁 業 地 区 内	1 市 区 町 村 内	複 数 の 市 区 町 村	都 道 府 県 の 全 域	複 数 の 都 道 府 県
181	000	1	2	3	4	5

3 漁業管理を開始した時の状況（新規出現客体のみ調査する。）
 漁業管理を開始した契機について（該当するものすべてに○印）

		漁獲量の減少への対応	漁業資源の維持管理	漁場競合の排除	漁業者間の競争排除	漁場の有効利用	漁場利用の均等化	その他
		1	2	3	4	5	6	7
191	0							

「その他」の内容を具体的に記入します。

〔Ⅱ〕 漁業管理

1 過去5年間の通常の時期に行った漁業管理の内容

(1) 漁業資源の管理内容について

（該当するものすべてに○印）

資源量の把握	201	000	1
漁獲（収獲）枠の設定	202	000	1
漁業資源の増殖	203	000	1
その他	204	000	1

「その他」の内容を具体的に記入します。

(2) 漁場の管理内容について

（該当するものすべてに○印）

漁場の保全	211	000	1
漁場の造成	212	000	1
漁場利用の取決め	213	000	1
漁場の監視	214	000	1
その他	215	000	1

「その他」の内容を具体的に記入します。

(3) 漁獲の管理内容について

（該当するものすべてに○印）

			法制度による規制	自主規制
漁期の規制	221	00	1	1
漁法の規制	222	00	1	1
漁船隻数の規制	223	00	1	1
漁船トン数・馬力数の規制	224	00	1	1
漁具の規制	225	00	1	1
出漁日数の規制	226	00	1	1
操業時間の規制	227	00	1	1
操業人員の規制	228	00	1	1
漁獲（収獲）サイズの規制	229	00	1	1
漁獲量（収獲量）の規制	230	00	1	1
その他	231	00	1	1

「その他」の内容を具体的に記入します。

2 過去5年間に漁業管理に要した費用

(1) 費用総額

(万円)

241						*
-----	--	--	--	--	--	---

(2) 費用総額のうち、参加経営体負担額

(万円)

242						*
-----	--	--	--	--	--	---

(3) 費用を負担した実経営体数

(経営体)

243			
-----	--	--	--

(4) 制度的補助金を受けたか否かについて

(いずれか一つに○印)

244	000	あり	なし
		1	2

3 漁業管理に係る調整

(該当するものすべてに○印)

	組織内の 漁業種類 間の調整	漁業地区内の 他の漁業種類 との調整	他の漁業 地区・市町村 等との調整	遊漁との調整
251	1	2	3	4

4 漁業管理に関する取決め

(1) 文書の周知方法について

(いずれか一つに○印)

	文書を配布	掲示板等 に掲示	文書の保管	
261	000	1	2	3

(2) 罰則の内容、確認者の配置及びそれらについての文書規定の有無について

(該当するものすべてに○印)

	罰 則			確 認 者 の 配 置	文 書		
	操業停止	罰 金	そ の 他		罰 則	確 認 者 の 配 置	
262	00	1	2	3	4	5	6

「その他」の内容を具体的に記入します。

〔Ⅲ〕 漁獲物の販売状況

1 販売の形態について

(いずれか一つに○印)

		共同販売のみ	共同販売が主	個人販売が主	個人販売のみ
301	000	1	2	3	4

2 主な決済方法について

(いずれか一つに○印)

		個人決済	プール計算	その他
311	000	1	2	3

「その他」の内容を具体的に記入します。

3 漁業管理を開始した以降の取組みについて

(該当するものすべてに○印)

		海上での取組		陸上での取組		
		活魚操業	品質対策	前処理・加工	販路の開拓	輸送対策
321	000	1	2	3	4	5

〔Ⅳ〕 漁業管理の効果

効果の内容について

(該当するものすべてに○印)

	漁獲量の安定	漁業経費の節減	所得格差の縮小	漁業経営の安定	魚価の安定	漁獲金額の増大・維持	操業秩序の維持	その他
401	1	2	3	4	5	6	7	8

「その他」の内容を具体的に記入します。



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省
 様式調第5号

2003年 漁業センサス
 海面漁業調査

海面漁業地域調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

		大海区名		
〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区
	名称			
	番号			

局・取りまとめセンター	
センター	

〔Ⅰ〕生産条件

1 漁場環境

(1) 藻場・干潟の有無

(該当するものすべてに○印)

	藻 場		干 潟	
	天 然	人 工	天 然	人 工
101	1	2	3	4

(2) 漁場環境改善への取組

① 植樹活動、魚付き林の造成の有無

(該当するものに○印)

	植樹活動	魚付き林の造成
111 00	1	2

植樹活動とは、森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保有する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいい、魚付き林の造成を含む。ただし、魚付き保安林として指定された魚付き林は除く。
 魚付き林とは、水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類の棲息と繁殖を助ける目的で設けた林。

② 海浜部清掃活動に参加した成人の男女別割合

(割)

男 性	112	00		
女 性	113	00		

③ 加工場の排水等に関する協定の有無

(いずれか一つに○印)

	協 定 あ り	協 定 な し
114 000	1	2

加工場の排水等に関する協定とは、漁場の水質保全を目的として、漁協と加工場との間で締結される加工場から出る排水や廃棄物に関する協定のことをいいます。

④ 合成洗剤不使用の取組みの有無

(いずれか一つに○印)

	取 組 あ り	取 組 な し
115 000	1	2

合成洗剤不使用の取組みとは、漁場の環境保全を目的として、漁業者及び地区住民が団体で合成洗剤を家庭等で使用しないように啓発・普及活動を行っていることをいいます。

⑤ 漁業系廃棄物の処理主体

F R P 船	116	000	該当するものに○印				主 な 処 理 主 体 (番号で記入)
			地方公共団体	漁業協同組合	民間業者	その他	
漁具・漁網	117	000	1	2	3	4	「その他」の処理主体を具体的に記入します。
魚箱	118	000	1	2	3	4	
漁獲物の残滓 <small>ざんし</small>	119	000	1	2	3	4	

(3) 漁場環境の変化

① 漁業権放棄

原因 (該当するものに○印)	原因			主 な 原 因 (番号で記入)
	埋め立て	港湾・漁港の建設	その他	
121	1	2	3	

「その他」の原因を具体的に記入します。

漁業権放棄面積 (m ²)				
平. 10	11	12	13	14
①	②	③	④	⑤
122				

② 埋め立て

原因 (該当するものに○印)	原因					主 な 原 因 (番号で記入)	
	港湾・漁港の建設	工業用地造成	宅地造成	道路建設	その他		
123	00	1	2	3	4	5	「その他」の原因を具体的に記入します。

2 遊漁の状況

(1) 遊漁が行われている（遊漁者が利用している）場所の有無

(該当するものすべてに○印)

		磯場	砂浜	岸壁	堤防	防波堤	干潟
131	00	1	2	3	4	5	6

(2) 受け入れ態勢の整備の有無

(該当するものすべてに○印)

		海釣り公園	釣り筏	その他
141	0	1	2	3

「その他」の内容を具体的に記入します。

(3) 過去1年間の延べ遊漁者数

(100人)

釣	船釣	151		
	磯・浜釣	152		
	岸壁・堤防釣	153		
潮干狩り		154		

(4) 漁業者との協定は

協定の内容								
漁港利用		漁場利用		採捕		その他		
実行の確認あり	実行の確認なし	実行の確認あり	実行の確認なし	実行の確認あり	実行の確認なし	実行の確認あり	実行の確認なし	
161	1	2	1	2	1	2	1	2

「その他」の内容を具体的に記入します。

(5) 遊漁案内業者数

計	171				「その他」の内容を具体的に記入します。
漁業協同組合	172				
漁業者	173				
船宿	174				
その他	175				

(6) 遊漁案内に使用した船の隻数及び1隻当たりの年間使用日数

		計	釣船	瀬渡し船	その他
		①	②	③	④
隻数(隻)	181				
1隻当たり年間使用日数(日)	182				

「その他」の内容を具体的に記入します。

〔Ⅱ〕活性化の取組

1 都市との交流

(1) 漁業体験及び漁村体験の実施主体及び開催回数

〔(該当するものすべてに○印)〕

		実施主体						開催回数
		都道府県	市区町村	漁業協同組合	観光協会	旅行業者 (民間会社)	その他	
漁業体験	201 00	1	2	3	4	5	6	
漁村体験	202 00	1	2	3	4	5	6	

「その他」の内容を具体的に記入します。

(2) 魚食普及活動の取組みの有無

(該当するものすべてに○印)

		実施主体				
		都道府県	市区町村	漁協		その他
				婦人部	その他	
211	000	1	2	3	4	5

2 海洋性レクリエーション

(1) 海洋性レクリエーション施設は…

	施設・場所数	年間利用客数 (100人)		
			①	②
海水浴場	221	0		
マリンスポーツ場	222	0		
キャンプ場	223	0		
水産物直販店	224	0		

	施設数	収容可能客数 (人)		
			①	②
民宿	225	0		

	施設数	最大収容隻数	
		(隻)	うち、陸上保管分(隻)
	①	②	③
マリーナ	226		

(2) 漁業者との協定は

協定の内容							
漁港利用		漁場利用		採捕		その他	
実行の確認あり	実行の確認なし	実行の確認あり	実行の確認なし	実行の確認あり	実行の確認なし	実行の確認あり	実行の確認なし
1	2	1	2	1	2	1	2
231 「その他」の内容を具体的に記入します。							

3 祭り・イベントの実施主体及び開催回数

(該当するものすべてに○印)

		実施主体				開催回数
		都道府県	市区町村	漁業協同組合	その他	
定期市	241	1	2	3	4	
伝統行事・祭り	242	1	2	3	4	
うち、交流志向	243	1	2	3	4	
その他のイベント	244	1	2	3	4	
うち、交流志向	245	1	2	3	4	

〔Ⅲ〕 集落の状況

漁業集落の名称	漁業集落番号	社会教育施設の整備状況			保育所	学童保育	し尿処理				
		集会場・公民館	伝統文化展示施設	その他の文化施設			水洗			汲み取り	
							公共下水道	集落排水施設等	合併浄化槽・槽		その他
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				
		該当するものすべてに○印			該当するものすべてに○印		主なもの一つに○印				
	001	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	002	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	003	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	004	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	005	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	006	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	007	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	008	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	009	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
	010	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5

家庭雑廃水の処理					階段付係船岸等	夜間作業用の照明設備	屋根付き岸壁	休憩施設	トイレ
公共下水道	集落排水施設等	合併浄化槽	河川等に直接流す 農業用排水路	その他					
⑨					⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
主なものの一つに○印					該当す	当す	する	もの	の
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



2003年 漁業センサス
内水面 漁業 調査

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

内水面漁業経営体調査票

平成15年11月1日調査

様式調第6号

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

〔指標欄〕	都府県 (支庁)	市区町村	内水面漁業 調査区	客 体 一連番号	経 営 組 織
名 称				調査員記入欄	
番 号					

個	会	漁	生	共	官	校
人	社	協	産	同	公	・
1	2	3	4	5	6	学
						験
						場

世帯主氏名 又 は 事業所名	
----------------------	--

(該当番号を記入します。)

記入上の留意事項

- 調査票には、調査客体の皆様に記入していただく箇所と、調査員が皆様から聞き取って記入する箇所があります。
皆様に記入していただく箇所は、2ページの「〔I〕 個人漁業経営体について」の赤枠で囲まれた部分です。
記入に当たっては、「内水面漁業経営体の皆様へ」の記入の仕方及び調査票に書かれている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
残りの箇所については、調査員が後日お伺いして聞き取りますので、それまで調査票の保管をお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用してください。
- 数字は算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

[I] 個人漁業経営体について

1 ページの経営組織が「個人」の場合に記入します。

赤枠内は経営体を代表する方が鉛筆で記入してください。

1 満15歳以上の世帯員の就業状況(過去1年間(14年11月1日~15年10月31日))について記入してください。

「世帯の経済的中心者」⑤とは、あなたの家の生計を支えている人をいいます。したがって、必ずしも世帯の戸籍筆頭者や漁業従事者の中の中心的な働き手であるとは限りません。

「自営漁業の経営主」⑬とは、自営漁業の経営に責任を持つ人をいいます。具体的には、経営の意思決定を行う人が該当します。⑬に○印が付いた人は、「自営漁業の後継者」⑰に○印が付きません。

「自営漁業の後継者」⑰とは、将来、自営している漁業の経営主になる予定の人をいいます。

名前	世帯員番号	平成15年11月1日現在の満年齢	性別		世帯の経済的中心者	過去1年間に従事した仕事について						過去1年間に従事した仕事のうち主な仕事	自営漁業について(⑰に○印の付いた人)				
			男	女		自営	自営農業	その他の自営業	雇われ	漁業	その他		自営漁業に従事した日数	湖沼漁業の陸上作業に従事した人	自営漁業の経営主	自営漁業の後継者	
①		②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
世帯員の名前を記入		(歳)	いずれかに○印		該当者に○印	該当者に○印	従事したもののすべてに○印						1~6の番号を記	日数を記入	該当者に○印	該当者に○印	
のりしろ	満	101	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1
	15歳	102	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1
		103	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1
		104	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1
	以上	105	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1
		106	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1
	107	1	2	1	1	1	2	3	4	5	6			1	1	1	

(人)				
満14歳以下	男	131	0	0
	女	132	0	0

2 兼業について

(1) 家としての主な兼業種類は何ですか。(世帯員が従事した2~6の仕事のうち、年間収入の最も多かった仕事一つに○印)

1	4	0	0	0	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

「過去1年間に従事した仕事について」のうち、従事した日数の最も長かった仕事の番号を記入します。

(2) 家として自営漁業とそれ以外の兼業とどちらが主(年間収入が多い)ですか。(いずれかに○印)

自営漁	自営が主	1
業が主	業が従	2

1	4	1	0	0	0
---	---	---	---	---	---

〔Ⅱ〕湖沼漁業について

湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を営んだ経営体のみ記入します。

湖 沼 名

湖 沼 番 号

7 0 1 0 0

職員記入欄

1 過去1年間に営んだ漁業種類は何ですか。

11月1日現在営んでいなくても、過去1年間に営んだ漁業種類はすべて該当します。

全国漁業種類番号

業 種	漁 業 種 別	全国漁業種類番号			営 業 中	販 売 額
		2	0	0		
網 漁 業	底びき網・船びき網	2	0	1	○	2
	刺 網	2	0	2	○	2
	定 置 網	2	0	3	○	2
	投 網	2	0	4	○	2
	その他の網漁業	2	0	5	○	2
そ の 他 の 漁 業	釣 ・ は え 縄	2	0	6	○	2
	採 貝 ・ 採 藻	2	0	7	○	2
	籠	2	0	8	○	2
養 殖 業	そ の 他 の 漁 業	2	0	9	○	2
	魚 類 養 殖	2	1	0	○	2
	そ の 他 の 養 殖	2	1	1	○	2

営 業 中
販 売 額
に
○ 印
を
付 け
て
記 入
し
ま
す

2 漁船について

過去1年間に漁船を使用して操業しましたか。
(借りて使用した場合も含めます。)

漁船を使用していない方は、
次ページへ

漁船を使用した方

(1) 使用した漁船の種類は何ですか。
(使用したものに○印)

全国漁業種類番号		無 動 力 船	船 外 機 付 船	動 力 船
2	5 1	○	1	2 3

(2) 過去1年間に使用した漁船のうち11月1日現在
保有している漁船は何隻ですか。
(借りて保有している船も含めます。)

(隻)

漁 船 種 別		2	5	0	0		
無 動 力 船		2	5	2	0	0	
船 外 機 付 船		2	5	3	0	0	
動 力 船	F R P 船	2	5	4	0	0	
	そ の 他	2	5	5	0	0	

(3) 過去1年間に使用した動力船のトン数の
合計は、いくらですか。
(小数点以下2位まで記入します。)

(トン)

2	5	.	6		
---	---	---	---	--	--

小数点

地方選定漁業種類について

「地方選定漁業種類一覧表」に記載されている漁業を行っている場合は名称、番号を記入の上、○印をします。

該 当 する 物 に ○ 印

(全国漁業種類番号) (地方選定漁業種類名) (番号)

地方選定漁業種類名		2	0	0	0		
		0	0	0	0	1	
		0	0	0	0	1	
		0	0	0	0	1	
		0	0	0	0	1	
		0	0	0	0	1	

3 通常の湖上作業従事者は何人いますか。

経営組織が「会社」の場合で、経営主又はその家族が湖上作業に従事している場合は雇用に記入します。

(人)

総数	2	6	1				
家族・雇用者別	家族	2	6	2			
	雇用者	2	6	3			
性別・年齢別	男子	15～29歳	2	6	4		
		30～39歳	2	6	5		
		40～49歳	2	6	6		
		50～59歳	2	6	7		
	女子	60～64歳	2	6	8		
		65～69歳	2	6	9		
		70歳以上	2	7	0		
	女子	2	7	1			

6 過去1年間に漁獲した魚種は何ですか。

販売を目的として漁獲（養殖による収獲物を含む。）した魚種すべてを記入します。

全国魚種番号		漁す 獲べ した もの の印	販の 売金 の額 に 一〇 位印
魚	こ い	3 0 1	0 0 1 2
	ふ な	3 0 2	0 0 1 2
	あ ゆ	3 0 3	0 0 1 2
	うぐい・おいかわ	3 0 4	0 0 1 2
	わかさぎ	3 0 5	0 0 1 2
	さけ・ます類	3 0 6	0 0 1 2
	しらうお	3 0 7	0 0 1 2
	うなぎ	3 0 8	0 0 1 2
	はぜ類	3 0 9	0 0 1 2
類	その他の魚類	3 1 0	0 0 1 2
貝類	しじみ	3 1 1	0 0 1 2
	その他の貝類	3 1 2	0 0 1 2
水産動物類	えび類	3 1 3	0 0 1 2
	あみ類	3 1 4	0 0 1 2
	その他の水産動物類	3 1 5	0 0 1 2
その他	3 1 6	0 0 1 2	

4 過去1年間の湖上作業従事日数は何日ですか。

(365日を超えない実日数で記入します。)

(日)

2	8	1	0		
---	---	---	---	--	--

5 過去1年間の漁獲物の販売金額はいくらですか。

(自分の家で消費したものは含めません。)

百億	十億	千億	百万	十万	万	(円)
2	9	1				

地方選定魚種について

「地方選定魚種一覧表」に記載されている魚種を漁獲している場合は名称、番号を記入の上、○印をします。

(全国魚種番号)	(地方選定魚種名)	(番号)	該当するものに○印			
			0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1

漁業経営として湖沼漁業のみ営んでいる場合は、この頁で調査を終了します。
次頁以降の調査を行う必要はありません。

〔Ⅲ〕内水面養殖業について

湖沼及びその他の内水面において養殖業を営んだ経営体のみ記入します。

11月1日現在営んでいなくても、過去1年間に営んだ養殖種類はすべて記入します。
 なお、湖沼の水面を利用して養殖を営んだ経営体については、3頁の「〔Ⅱ〕湖沼漁業について」も記入します。

1 過去1年間に営んだ養殖種類は何ですか。

全国養殖種類番号	にじます その他ます類 あゆ こい ふな うなぎ すっぽん その他	4:0:1 4:0:2 4:0:3 4:0:4 4:0:5 4:0:6 4:0:7 4:0:8	営んだもの の印		販売金額 のもの の印		養殖施設面積 単位：アール(畝)	使用面積 単位：アール(畝)
			1	2	1	2	養殖種類別の面積を記入します。 (100平方メートル=1アール)	
食 用	にじます	4:0:1	1	2				
	その他ます類	4:0:2	1	2				
	あゆ	4:0:3	1	2				
	こい	4:0:4	1	2				
	ふな	4:0:5	1	2				
	うなぎ	4:0:6	1	2				
	すっぽん	4:0:7	1	2				
	その他	4:0:8	1	2				
種 苗 用	ます類	4:0:9	1	2				
	あゆ	4:1:0	1	2				
	こい	4:1:1	1	2				
観 賞 用	その他	4:1:2	1	2				
	錦ごい	4:1:3	1	2				
真 珠	きんぎょ	4:1:4	1	2				
	珠	4:1:5	1	2				

養殖施設面積
 経営体の所有（借入を含む。）する総施設面積

使用面積
 施設面積のうち、通常使用している面積（魚類を放養しない面積を除く。）

2 過去1年間に営んだ養殖方法別養殖規模について記入してください。

池中養殖に該当した場合のみ、「3 池中養殖の加温・保温施設…」に進みます。

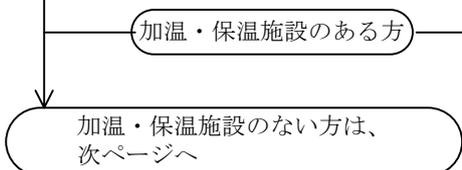
養殖方法	養殖池数 [単位：面]	養殖面積 単位：アール(畝)	営んだもの の印		販売金額 のもの の印	
			1	2	1	2
止水式	4:5:1		1	2		
流水式	4:5:2		1	2		
循環式	4:5:3		1	2		
ため池養殖	4:5:4		1	2		
網いけす養殖	4:5:5		1	2		
その他養殖	4:5:6		1	2		

地方選定養殖種類について

「地方選定養殖種類一覧表」に記載されている養殖を行っている場合は名称、番号を記入の上、○印をします。

全国養殖種類番号	地方選定養殖種類名	番号	0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1
			0	0	0	1

3 池中養殖の加温・保温施設について記入してください。



「1 過去1年間に営んだ養殖種類は何ですか」の全国養殖種類番号を記入します。

全国養殖種類番号	平方メートルで記入	使用期間		
		種 苗 期	育 成 期	種と 育 成 期
4:7:1		1	2	3
4:7:2		1	2	3
4:7:3		1	2	3
4:7:4		1	2	3

4 通常の養殖業従事者数は何人ですか。

経営組織が「会社」の場合で、経営主又はその家族が養殖業に従事している場合は雇用者に記入します。

(人)

総数		481					
家族・雇用者別	家族	482					
	雇用者	483					
性別・男子年齢別	男	15～29歳	484				
		30～39歳	485				
		40～49歳	486				
		50～59歳	487				
	女子	60～64歳	488				
		65～69歳	489				
		70歳以上	490				
	女子		491				

5 過去1年間の収穫物の販売金額はいくらですか。

(自分の家で消費したものは含めません。)

百億 十億 億 千万 百万 十万 万 (円)

501						
-----	--	--	--	--	--	--

6 過去1年間に営んだ販売金額一位の養殖種類(真珠養殖の場合は、調査を行う必要はありません。)における用水、排水、種苗、収穫物の販売状況について記入してください。

(1) 用水の種類について該当するものに○印を記入してください。(用水量が1位のものに○印)

湧水	河川水	汲み上げる地下水	かんがい用水	湖水	温泉	工場の温排水	その他
1	2	3	4	5	6	7	8

6000

(2) 排水の処理について該当するものに○印を記入してください。

(「浄化処理」についてはいずれかに○印、「浄化処理方法」については主なものに○印)

浄化処理		浄化処理方法	
行っている	行っていない	ろ過装置	その他
1	2	1	2

6020

(3) 種苗の調達方法・購入先について該当するものに○印を記入してください。

(「調達方法」についてはいずれかに○印、「購入先」については主なもの一つに○印)

「調達方法」の1～3のいずれかに○印が付いた場合は「購入先」を記入します。

調達方法				購入先			
購入種苗のみ	購入種苗が主	自家種苗が主	自家種苗のみ	試験研究機関	漁協	種苗業者	その他
1	2	3	4	1	2	3	4

6030

(4) 収穫物の販売状況について(販売があった場合に記入します)

ア 収穫物の販売先・委託先について該当するものに○印を記入してください。(主なもの一つに○印)

漁協・農協	問屋・小売商	旅館・飲食業	水産加工業	釣堀	養殖業経営体	家庭消費者	その他
1	2	3	4	5	6	7	8

6040

イ 収穫物の販売形態について該当するものに○印を記入してください。

(主なもの一つに○印)

販売金額一位の養殖種類が食用の場合に記入します。			
活魚	鮮魚	加工品	その他
1	2	3	4

6050



指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第7号

2003年 漁業センサス
内水面 漁業調査

内水面漁業地域調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

〔指標欄〕	都府県 (支庁)	市区町村	内水面 漁業地域	水	系	小	水	系
	名称							
番号								

局・取りまとめセンター	
センター	

I 生産条件

1 漁場環境

(1) 河川・湖沼関連施設について

101	堰			堤			魚 礁・ 魚巢ブロック			産 卵 場		
						うち、魚道つき						

(2) 植樹活動及び魚付き林の造成の有無

(該当するものに○印)

			植樹活動	魚付き林 の造成
111	0	0	1	2

植樹活動… 森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保育する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいい、魚付き林の造成を含む。ただし、魚付き保安林として指定された魚付き林は除く。

魚付き林… 水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類の棲息と繁殖を助ける目的で設けた林。

(3) 河川・湖沼の清掃活動に参加した成人の男女別割合

(割
)

男 性	121	0	0		
女 性	122	0	0		

(4) 過去1年間に行った漁場環境改善への取組

(該当するものすべてに○印)

種苗生産・放流の取組	131	0	0	0	1
中間育成の取組	132	0	0	0	1
保護水面の管理	133	0	0	0	1
産卵場の造成管理	134	0	0	0	1
魚道の管理	135	0	0	0	1
外来魚の駆除	136	0	0	0	1

(5) 過去1年間に生産した種苗の種類

(該当するものすべてに○印)

さ け ・ ま す 類	さく 河 性	しろぎけ	141	0	0	0	1
		さくらます	142	0	0	0	1
		その他	143	0	0	0	1
	陸 封 性	にじます	144	0	0	0	1
		あまご	145	0	0	0	1
		やまめ	146	0	0	0	1
		いわな	147	0	0	0	1
		その他	148	0	0	0	1
あ	ゆ	149	0	0	0	1	
こ	い	150	0	0	0	1	
ふ	な	151	0	0	0	1	
そ	の 他	152	0	0	0	1	

種苗生産は、地域内において生産された種苗で該当するものに○印を付けます。
なお、漁協が放流等のために行う中間育成や蓄養は除きます。

具体的に種苗名を記入します。

(6) 放流の取組

さ け ・ ま す 類	さく 河 性	しろぎけ	1,000尾 単位で 記入	161	0	0				
		さくらます		162	0	0				
		その他		163	0	0				
	陸 封 性	にじます		164	0	0				
		あまご		165	0	0				
		やまめ		166	0	0				
		いわな		167	0	0				
		その他		168	0	0				
あ	ゆ	169		0	0					
こ	い	170		0	0					
ふ	な	171		0	0					
う	な ぎ	172		0	0					
その他の魚類		173		0	0					
貝類		kg単位で 記入		174	0	0				
わかさぎ卵		10,000粒 単位で 記入		175	0	0				
その他の卵		176		0	0					

2 遊漁の状況

(1) 遊漁が行われている(遊漁者が利用している)場所の有無

(該当するものすべてに○印)

河川・湖沼	201	0	0	0	1
友釣り専用区域	202	0	0	0	1
フライフィッシング専用区域	203	0	0	0	1
溪流釣場	204	0	0	0	1
釣堀	205	0	0	0	1

(2) 魚種別延べ遊漁者数

(人)
十
万
万
千
百

ます類	211			
あゆ	212			
こい	213			
ふな	214			
わかさぎ	215			
バス類	216			
その他	217			

(3) 遊漁者への啓発・普及活動

(該当するものすべてに○印)

		実施主体			
		都道府県	市区町村	漁業協同組合	その他
ポスター、パンフレットの作成	221	1	2	3	4
講習会の開催	222	1	2	3	4
その他の啓発・普及活動	223	1	2	3	4

II 活性化の取組

(1) 地域との交流

		実 施 主 体				開 催 回 数 (回)
		都 道 府 県	市 区 町 村	漁 業 協 同 組 合	そ の 他	
祭 ・ イ ベ ン ト	301	1	2	3	4	
漁 業 体 験	302	1	2	3	4	

(2) 親水性レクリエーション

		施 設 ・ 場 所 数	年 間 利 用 客 数 (人)			
			百 万	十 万	万	千 百
キ ャ ン プ 場	311					
水 上 ス ポ ー ツ 場	312					
水 産 物 直 販 店	313					

III 内水面漁業集落について (調査の準備において内水面漁業集落を設定した場合のみ記入します。)

漁 業 集 落 の 名 称 (6 集 落 以 上 の 場 合 は 補 助 票 に 記 入 し ま す)	漁 業 集 落 番 号	社 会 教 育 施 設 の 整 備 状 況			し 尿 処 理					家 庭 雑 廃 水 の 処 理				
		集 会 場 ・ 公 民 館	伝 展 統 示 文 施 化 設	そ の 他 の 文 化 施 設	水	洗	汲 み 取 り	公 共 下 水 道	集 落 排 水 施 設 等	合 併 浄 化 槽	農 業 用 排 水 路 ・ す	河 川 等 に 直 接 流 す	そ の 他	
														公 共 下 水 道
①	②	③			④					⑤				
		該 当 す る も の す べ て に ○ 印			主 な も の 一 つ に ○ 印					主 な も の 一 つ に ○ 印				
	401	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	402	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	403	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	404	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	405	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省
 様式調第8号

2003年 漁業センサス
 流通加工調査

水産物流通機関調査票 ()

【魚市場用】

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

		大海区名			
〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	市場一連 番 号
	名称				
	番号				

市場名	
-----	--

記入上の留意事項

- 1 この調査票は、魚市場の方が直接記入していただくようお願いします。
- 2 記入に当たっては、「水産物流通機関調査票()の記入の仕方」の注意事項及び調査票に記載されている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 3 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年1月1日から平成14年12月31日までを指します。
- 4 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用して下さい。
- 5 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右につめて記入して下さい。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。
 なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

1 市場の種類について、いずれか一つに 印を記入して下さい。

「中央卸売市場」は、8以降の設問について記入してください。

中央卸売市場		1
地方卸売市場		2
その他		3

「その他」の内容を具体的に記入します。

2 市場の開設者について、いずれか一つに 印を記入して下さい。

（会社に該当するものは、名称中に「株式会社」、「有限会社」、「合名会社」及び「合資会社」という文字を含みます。）

地方公共団体		1
漁業協同組合		2
漁協連合会		3
会社		4
個人		5

3 水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために、使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入して下さい。
（小数点以下は四捨五入して下さい。）

	(㎡)

4 11月1日現在、魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の人数を記入して下さい。

水産物卸売業者数					
水産物買受人数					

5 過去1年間に開場した日数を記入して下さい。

年間開場日数					

6 過去1年間の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額を記入して下さい。

過去1年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品、加工品）の数量をいい、第1次水揚量（内水面漁業、養殖業による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品も含まれます。

数 量	総 数								
	うち活魚								
	水 揚 量								
	搬 入 量								
	うち輸入品								

前記の数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額を記入します。
また、活魚及び輸入品の金額をうち数として記入します。

金 額	総 額								
	うち活魚								
	うち輸入品								

7 活魚槽の有無について、いずれか一つに 印を記入して下さい。

活魚槽とは、陸上に常設しエアレーション等により酸素を供給するものをいいます。

活魚槽あり		1
活魚槽なし		2

8 安全・品質確保のために導入した衛生管理施設への投資金額について、過去5年間の総額に該当する金額区分一つに 印を記入して下さい。

衛生管理施設とは、HACCP、一般衛生管理など食品の品質・衛生管理の向上を図ることを目的として整備された施設のことをいいます。具体的には、手洗い設備、長靴消毒槽、選別機、殺菌海水装置等が該当します。

100万円未満		1
100万～500万円		2
500万～1,000万円		3
1,000～5,000万円		4
5,000万～1億円		5
1億～5億円		6
5億～10億円		7
10億円以上		8

9 市場における廃棄物の再生利用への取組みについて、該当するものすべてに 印を記入して下さい。

廃棄物の再生利用	魚類等 ざんしの残滓	市場で再生処理している		1
		再生処理の業者に引き渡し		2
		廃棄処理の業者に引き渡し		3
	魚箱	市場で再生利用している		4
		再生処理の業者に引き渡し		5
		廃棄処理の業者に引き渡し		6

魚類等の残滓ざんしとは、選別・処理の段階で排出される雑魚、魚の内臓、貝殻及び養殖のへい死魚のことをいいます。
また、魚箱とは水揚げ・出荷等に使用する発泡スチロール、プラスチック等の化学製品を材料とする魚箱のことをいいます。

10 取引後の電算処理について、該当するものすべてに 印を記入して下さい。

市況情報の電算入力		1
精算業務の電算入力		2
決済業務の電算入力		3
すべて手集計		4

市況情報の電算入力とは、魚種別・漁業種類別に取扱数量、金額等の市場取引の結果を電算入力している場合のことをいいます。
精算業務の電算入力は、出荷者・買受人等に対する精算業務を電算処理で行っている場合のことをいいます。
決済業務の電算入力は、決済業務を電算処理で行っている場合のことをいいます。
すべて手集計は、取引の結果を電算処理によらず、手集計で行っている場合のことをいいます。



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省
 様式調第9号

2003年 漁業センサス
 流通加工調査

水産物流通機関調査票 ()

【水産物卸売業者用】

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

		大海区名				
〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	市場一連 番 号	卸売業者 一連番号
	名称					
	番号					

市場名	
卸売業者名	

記入上の留意事項

- この調査票は、水産物卸売業者の方が直接記入していただくようお願いします。
- 記入に当たっては、「水産物流通機関調査票 () の記入の仕方」の注意事項及び調査票に記載されている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年1月1日から平成14年12月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用して下さい。
- 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右につめて記入して下さい。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

1 経営組織について、いずれか一つに 印を記入して下さい。

会社に該当するものは、名称中に「株式会社」、「有限会社」、「合名会社」及び「合資会社」という文字を含みます。

漁業協同組合		1
漁協連合会		2
会社		3
個人		4
その他		5

「その他」の内容を具体的に記入します。

2 11月1日現在の従業者数を記入して下さい。

従業者とは、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。
 なお、個人事業主及び無給の家族従業者も含まれます。

男性					(人)
女性					

3 過去1年間の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額を記入して下さい。

過去1年間に取り扱った水産物（活魚、生鮮品、冷凍品、加工品）の数量をいい、第1次水揚量（内水面漁業、養殖業による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量も含まれます。

数量	総数						(トン)
	水揚量						
	搬入量						

前記の数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額を記入します。

金額						(万円)
----	--	--	--	--	--	------

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省
様式調第10号

2003年 漁業センサス
流通加工調査

水産物流通機関調査票 ()

【水産物買受人用】

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

		大海区名				
〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	市場一連 番号	買受人 一連番号
	名称					
	番号					

市場名	
買受人名	

記入上の留意事項

- 1 この調査票は、水産物買受人の方が直接記入していただくようお願いします。
- 2 記入に当たっては、「水産物流通機関調査票 () の記入の仕方」の注意事項及び調査票に記載されている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 3 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年1月1日から平成14年12月31日までを指します。
- 4 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用して下さい。
- 5 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右につめて記入して下さい。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

- 1 業態区分について、水産物の取扱高が最も多いものの番号に 印を記入して下さい。

出荷は他の魚市場や卸売業者に出荷を行っている者、卸は出荷以外で水産物の卸売を行っている者、加工は自家の加工原料として買い付けを行っている者、小売は直接消費者に販売を行っている者、その他は上記以外の者をいいます。

出 荷			1
卸			2
加 工			3
小 売	店 舗 あり		4
	店 舗 なし		5
そ の 他			6

「その他」の内容を具体的に記入します。

- 2 11月1日現在の従業者数を記入して下さい。

従業者とは、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。なお、個人事業主及び無給の家族従業者も含まれます。

			(人)	
男	性			
女	性			

- 3 過去1年間の年間水産物取扱金額について、該当する金額区分一つに 印を記入して下さい。

過去1年間に取り扱った水産物（活魚、生鮮品、冷凍品、加工品）の取扱金額を記入して下さい。

100万円未満		1
100万～500万円		2
500万～1,000万円		3
1,000万～5,000万円		4
5,000万～1億円		5
1億～5億円		6
5億～10億円		7
10億円以上		8



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省

様式調第11号

2003年漁業センサス
 流通加工調査
冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

大海区名

〔指標欄〕	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	事業所 一連番号
	名称				
番号					

事業所名	<input type="text"/>			
	「本社名」及び「本社所在地」は、事業所が「本社」又は「本店」以外の場合のみ記入して下さい。			
本社名	<input type="text"/>			
本社所在地	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">都道 府県</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">市区 町村</td> </tr> </table>		都道 府県	市区 町村
	都道 府県	市区 町村		

記入上の留意事項

- この調査票は、事業所の方が直接記入していただくようお願いします。
- 記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」の注意事項及び調査票に記載されている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用して下さい。
- 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右につめて記入して下さい。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>

事業区分

冷蔵倉庫業のみを10馬力以上の製氷・冷蔵・冷凍施設で行っている事業所(自家用を含む。)	1	→	「 共通部分」及び「 冷凍・冷蔵工場」にお答え下さい。
冷蔵倉庫業のうち、生鮮水産物を凍結させる事業を10馬力以上の冷凍施設で行っている事業所(自家用を含む。)	2	→	「 共通部分」、「 冷凍・冷蔵工場」及び「 水産加工場」にお答え下さい。
冷蔵倉庫業のうち、生鮮水産物を凍結させる事業を10馬力未満の冷凍施設で行っている事業所(自家用を含む。)	3	→	「 共通部分」及び「 水産加工場」にお答え下さい。
水産加工を行い、製氷・冷凍・冷蔵施設を所有しない、又は、所有の冷凍・冷蔵庫が10馬力未満の事業所。	4	→	「 共通部分」及び「 水産加工場」にお答え下さい。
水産加工を行い、所有の製氷・冷凍・冷蔵施設が10馬力以上の事業所。	5	→	「 共通部分」、「 冷凍・冷蔵工場」及び「 水産加工場」にお答え下さい。

[] 共通部分

識別コード: 1

(すべての事業所の方が記入して下さい。)

1 事業所の形態について、いずれか一つに 印を記入して下さい。

会社に該当するものは、名称中に「株式会社」、「有限会社」、「合名会社」及び「合資会社」という文字を含みます。

個人		1
会社		2
組合	水産業協同組合	3
	その他	4
その他		5

「その他」の内容を具体的に記入します。

2 過去1年間に営んだ事業について、該当するものすべてに 印を、「主とする事業」欄には、事業の収入が一番多かったものの番号(1~7のうち一つ)を記入してください。

冷凍・冷蔵倉庫業	1
水産加工業	2
漁業・養殖業	3
水産物卸売業	4
水産物仲卸(買)業	5
水産物小売業	6
その他	7
主とする事業	

「その他」の内容を具体的に記入します。

3 11月1日現在の従業者数を記入して下さい。

(人)

従業者とは、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。
 なお、個人事業主及び無給の家族従業者も含まれます。

常 雇	男 性			
	女 性			
臨時雇 ・日雇	男 性			
	女 性			

4 貴事業所において、安全・品質確保のために導入した衛生管理施設への投資金額について、過去5年間の総額に該当する金額区分一つに 印を記入して下さい。

衛生管理施設とは、HACCP、一般衛生管理など食品の品質・衛生管理の向上を図ることを目的として整備された施設の事をいいます。具体的には、手洗い設備、長靴消毒槽、選別機、殺菌海水装置等が該当します。

100万円未満		1
100万～500万円		2
500万～1,000万円		3
1,000万～5,000万円		4
5,000万～1億円		5
1億円以上		6

〔 〕 冷凍・冷蔵工場

識別コード 2

事業区分で1、2または5に該当した事業所がお答え下さい。

1 冷凍・冷蔵庫の用途について、いずれか一つに 印を記入して下さい。

営業用とは、倉庫業法に基づき営業する事業所又は水産業協同組合及び中小企業等協同組合が、委託品を取り扱う場合をいいます。

営 業 用		1
自 家 用		2

2 過去1年間の冷凍・冷蔵庫の利用者について、該当するものすべてに 印を、「主な利用者」欄には、入庫量が一番多かった者の番号(1～8のうち一つ)を記入して下さい。

組合員は、水産業協同組合が事業として運営している冷凍・冷蔵工場を所属組合員が利用した場合をいいます。
 水産会社は、(株)極洋、マル八(株)、日本水産(株)及び(株)二チ口の事業所が利用した場合をいい、これらの系列会社及びその他の水産会社は「その他」となります。
 自営品は、自家の水産物を保管する場合をいいます。

利 用 者	寄	水産業協同組合		1
		組 合 員		2
	託	水 産 会 社		3
		卸 売 業 者		4
		買 受 人		5
		加 工 業 者		6
	品	そ の 他		7
		自 営 品		8

(上記のうち、入庫が多かった者の番号を記入して下さい。)

主 な 利 用 者

3 冷凍・冷蔵庫の各能力をトン単位で記入して下さい。(トン/日)

製 氷 能 力			<input type="text"/>
---------	--	--	----------------------

(トン)

冷 蔵 能 力		<input type="text"/>
うち、容積建保管契約分		<input type="text"/>
うち、貯水分		<input type="text"/>

(トン/日)

凍 結 能 力			<input type="text"/>
---------	--	--	----------------------

容積建保管契約とは、冷凍・冷蔵工場のうち保管料を委託品の重量又は体積による料率によらず、室単位で契約している場合のことをいいます。

〔 〕 水産加工場

識別コード 3

事業区分で、2 から 5 に該当した事業所の方が記入して下さい。

1 貴事業所で過去1年間に生産した水産加工品の種類について、該当するものすべてに印を、「主な加工種類」欄には、年間販売金額が最も多い加工種類一つ(01~21のうち一つ)を記入して下さい。

水産加工品とは、水産物を主原料(水産物の原料割合が、50%以上のものをいう。)として製造された食品加工品、油脂、飼肥料及び生鮮水産物又は食用加工品を凍結した冷蔵水産物をいいます。

また、冷凍すり身を原料として加工品を製造している場合についても、「水産加工品」の対象とします。

		営んだ加工種類		
加	冷 凍 水 産 物	01		
	缶 ・ び ん 詰	02		
	ね製 り品	か ま ぼ こ 類	03	
		魚 肉 ハ ム ・ ソ ー セ ー ジ 類	04	
	冷 凍 食 品	05		
	素 干 し 品	06		
	工	塩 干 品	07	
		煮 干 し 品	08	
		塩 蔵 品	09	
		く ん 製 品	10	
種	節 製 品	11		
	そ食	塩 辛 類	12	
		水 産 物 漬 物	13	
	の用 加 他 工 の品	調加 工	水 産 物 つ く だ 煮 類	14
		味品	乾 燥 ・ 焙 焼 ・ 揚 げ 加 工 品	15
			そ の 他	16
		そ の 他	17	
	寒 天	18		
	焼 ・ 味 付 の り	19		
	油 脂	20		
	飼 肥 料	21		
主 な 加 工 種 類				

2 過去1年間に水産加工品を製造した総日数を記入して下さい。(日)

	<input type="text"/>
--	----------------------

- 3 過去1年間に販売した水産加工品の総額に該当する金額区分一つに印を記入して下さい。

100万円未満	●	1
100万～500万円		2
500万～1,000万円		3
1,000万～5,000万円		4
5,000万～1億円		5
1億～5億円		6
5億～10億円		7
10億円以上		8

- 4 貴事業所で使用している原材料の仕入れ先について、「仕入れ先」欄には該当するものすべてに印を記入して下さい。

仕入れ先で「輸入品」に該当した場合は、「輸入品の仕入れ割合」欄に貴事業所で使用している原材料のうち、輸入品の占める割合を記入して下さい。

仕 入 先	国 産 品	市場の卸売業者	●	01
		仲卸問屋	●	02
		加工業者	●	03
		自家生産物	●	04
		漁業者	●	05
		その他	●	06
	輸 入 品	貿易商社	●	07
		市場の卸売業者	●	08
		仲卸問屋	●	09
		加工業者	●	10
		自社輸入	●	11
		その他	●	12

(割)

輸入品の仕入れ割合	●	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>
-----------	---	---

「その他」の内容を具体的に記入します。

5 水産加工品の出荷先について、該当するものすべてに 印を記入して下さい。

小売業者は、スーパー（量販店含む）や鮮魚商等へ出荷している場合をいいます。
直売所は、直売所や道の駅などで場所を借りて販売している場合をいいます。
自家販売は、自家店舗、通販、インターネット販売、行商などで販売している場合をいいます。

漁協の市場又は荷さばき所		1
漁協以外の卸売市場		2
流通業者・加工業者		3
小売業者		4
生協		5
外食産業・給食業者等		6
直売所		7
自家販売		8
その他		9

「その他」の内容を具体的に記入します。

6 魚類等の^{ざんし}残滓の再生利用への取組みについて、該当するものすべてに 印を記入して下さい。

魚類等 ^{ざんし} の残滓	工場 ^{ざんし} で再生処理		1
	再生処理の業者に引き渡し		2
	廃棄処理の業者に引き渡し		3

魚類等の^{ざんし}残滓とは、選別・加工の段階で排出される雑魚、魚の内臓、貝殻などのことをいいます。